

令和6年度

総合教育センター・子どもと親のサポートセンター 研究発表会

主題

生きる力を育てる道徳科授業づくりに関する研究

千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部 研究開発班

1

報告
内容

- 1 主題設定の理由
- 2 研究の目的及び研究計画
- 3 研究概要
- 4 今年度の取組
- 5 成果と次年度に向けて

千葉県総合教育センター

2

報告
内容

- 1 主題設定の理由
- 2 研究の目的及び研究計画
- 3 研究概要
- 4 今年度の取組
- 5 成果と次年度に向けて

千葉県総合教育センター

3

1 主題設定の理由

第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日 閣議決定）

目標2 豊かな心の育成【基本施策】道徳教育の推進

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育を推進する

第4期千葉県教育振興基本計画（原案）（千葉県/千葉県教育委員会）

【基本目標2】未来を切り拓く「人」の育成

施策8 豊かな心の育成

（1）豊かな情操や道徳心を育む教育の推進

子供の発達段階に応じた体系的・系統的な道徳教育の推進等

千葉県総合教育センター

4

1 主題設定の理由

令和3年度道徳教育実施状況調査（文科省）

【調査対象】 **学校**（全国公立小・中・義務教育・中等教育学校（前期課程））
及び**教育委員会**

設 問	（課題について） 回 答	（課題について） 「特になし」
道徳教育を推進する上での課題	98.6%	1.4%
道徳科の授業を実施する上での課題	99.9%	0.1%
「道徳科」の評価を行う上での課題	98.4%	1.6%

道徳教育・道徳科授業の推進・実践・評価にあたり、**ほぼ全ての「学校」が課題を感じている**

5

1 主題設定の理由

令和3年度道徳教育実施状況調査（文科省）

道徳科を含む道徳教育の充実に向けて参考としている情報（複数回答可）

都道府県・市区町村の教育委員会や
教育センターが主催する**研修**

都道府県・市区町村の教育委員会や
教育センターが作成した**資料**

「学校」は、教育機関に**道徳科授業づくりの研修や資料を求めている**

6

1 主題設定の理由

令和3年度道徳教育実施状況調査（文科省）

【調査対象】

学校（全国公立小・中・義務教育・中等教育学校（前期課程））
及び**教育委員会**

本調査研究

「**県内**」の「授業を**実際に**行っている**教員**」を対象に調査



県の実態に基づいた**研修・資料づくり**

千葉県総合教育センター

7

1 主題設定の理由

千葉県総合教育センターが発行している「授業づくりガイドブック」



授業力アップ
平成22年3月発行
平成27年3月改訂



確かな習得を図る
「教えて考えさせる指導」
平成24年3月発行



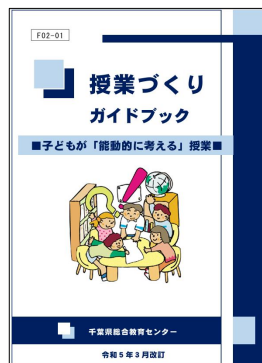
子どもが「能動的に
考える」授業
令和5年3月改訂

千葉県総合教育センター

8

1 主題設定の理由

子どもが「能動的に考える」授業
令和5年3月改訂



令和5年4月のWebアップ

半年でアクセスは1,600件を超える
(令和7年1月時点で2,800件超)

授業づくり・授業改善の情報を求める声

国・社・算(数)・理・英の5教科を取り上げる

道徳科についての研修ニーズが高い
※原則として全ての担任が行うことが求め
られている特別の教科

「道徳科」に関する情報を求める声

9

1 主題設定の理由

☑ 子供たちの「豊かな心の育成」のために、「道徳科」を
要とした道徳教育の推進が求められている

☑ 道徳教育・道徳科の推進・実践にあたり、ほぼ全ての
「学校」が課題を感じている

☑ 県内教員は「道徳科授業づくり」に関する情報を求め
ている

千葉県総合教育センター

10

報告 内容

1 主題設定の理由

2 研究の目的及び研究計画

3 研究概要

4 今年度の取組

5 成果と次年度に向けて

千葉県総合教育センター

11

2 研究の目的及び研究計画

(1) 研究の目的

道徳科に対する教員の実態調査を通して、道徳教科化の
成果と課題を明らかにし、**これからの時代を生きる力を育てる**
道徳科授業づくりの方向性を明らかにする。



千葉県総合教育センター

12

2 研究の目的及び研究計画

(2) 研究計画

本研究は、令和6～7年度の2か年計画で実施。

研究年度	研究内容
令和6年度 (基礎研究)	○調査研究計画立案 ○文献調査 ○県教員実態調査及び分析
令和7年度 (実践研究)	○文献調査 ○実践事例収集 ○「成果物」作成 ○研修コンテンツ作成

千葉県総合教育センター

13

報告 内容

- 1 主題設定の理由
- 2 研究の目的及び研究計画
- 3 研究概要
- 4 今年度の取組
- 5 成果と次年度に向けて

千葉県総合教育センター

14

3 研究概要

令和6年度：基礎研究

- ・「道徳科授業づくり」に係る県の実態調査
(質問紙調査・聞き取り調査)
- ・「道徳科授業づくり」に関する文献調査
(国や県の通知・先行研究・他自治体の研究など)



研究の方向性を明らかにする

千葉県総合教育センター

15

3 研究概要

令和7年度：実践研究

- ・道徳科授業に関する文献調査 (理論面)
- ・県内の協力員・協力校の取組・実践事例
収集 (道徳科授業づくり・実践など)



「成果物」作成・研修コンテンツ作成

千葉県総合教育センター

16

報告 内容

- 1 主題設定の理由
- 2 研究の目的及び研究計画
- 3 研究概要
- 4 **今年度の取組**
- 5 成果と次年度に向けて

千葉県総合教育センター

17

4 今年度の取組

(1) 研究会議（共同研究者指導・助言）



千葉大学グランドフェロー
敬愛大学教育学部教授
土田 雄一 先生

神田外語大学准教授
松田 憲子 先生

第1回 講話
「道德教育の現状と課題」
※調査研究の方向性についての指導・助言を含む

第2回 指導・助言
「調査から見える実態と、これから求められる道德科授業づくりの調査研究について」

18

4 今年度の取組

(2) 「道德科授業づくり」に係る県の実態調査

① 県内教員への質問紙調査
「令和6年度『特別の教科 道德』に関する調査」
県内教員の「道德科授業づくり」に関する実態の把握



② 県内調査協力者へのインタビュー調査
「道德科授業づくり」に係る実際についての理解を深める



千葉県総合教育センター

19

「①県内教員への質問紙調査」について

○調査対象

小・中・義務教育学校教員（講師を含む）のうち、道德科の授業を受け持ったことがあり（教育実習を含む）、調査に協力できる教員

○質問について

質問数は全部で20

「道德科についての意識・理解の様子・困り感・求める情報など」



○回答方法

Webアンケート（「ちば電子申請サービス」を利用）

回答への負担軽減のために、質問内容を精査すると共に、回答方法をWebアンケートとし、回答が10分程度でできるようにした

（質問内容についての参考資料）「『特別の教科 道德』についての 小・中学校教員一斉調査」松田憲子・土田雄一、神田外語大学紀要第31号、2019

千葉県総合教育センター

20

②調査協力者へのインタビュー調査について

○調査対象

研修受講者から協力者を募る

→20名の協力者（県内全域・様々な年代の教員に協力依頼）

○実施方法

電話によるインタビュー

○質問内容

「道徳科についての質問」を基に、半構造化面接の形式で行う

「道徳科の授業で難しさを感じること」「求める資料や研修」等

インタビュー調査は、「①県内教員への質問紙調査」で把握した実態について、理解を深めることをねらいとして実施した

千葉県総合教育センター

21

「①県内教員への質問紙調査」結果

【分析対象数】全回答2,525件、うち、有効回答2,475件を分析対象

【内 訳】回答した教員の学校種・教員経験年数・所属地域・専門教科

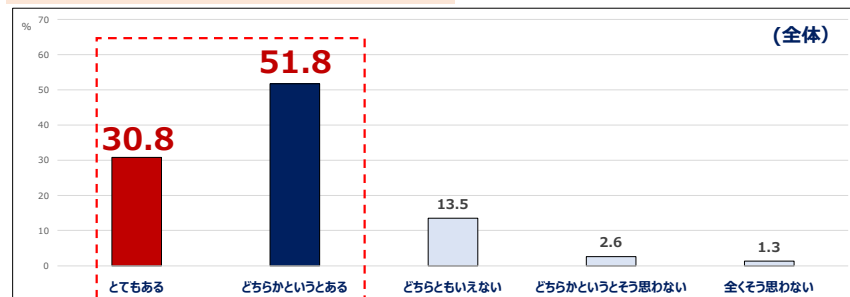
学校種	小学校	中学校										
	1,821	654										
教員経験 年 数	0～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上							
	472	591	831	285	296							
所属地域	葛 南	東 葛	北 総	東上総	南房総							
	855	367	581	318	354							
※1 専門教科	国	社	算・数	理	※2 生活	音	図・美	体・保	家・技	外・英	総	特・学
	611	233	604	168	50	79	78	285	46	189	61	71

※1 小学校は「最も関心が高い教科等」 ※2 小学校教員のみ回答

22

「①県内教員への質問紙調査」結果

1. 道徳科に関心がありますか。



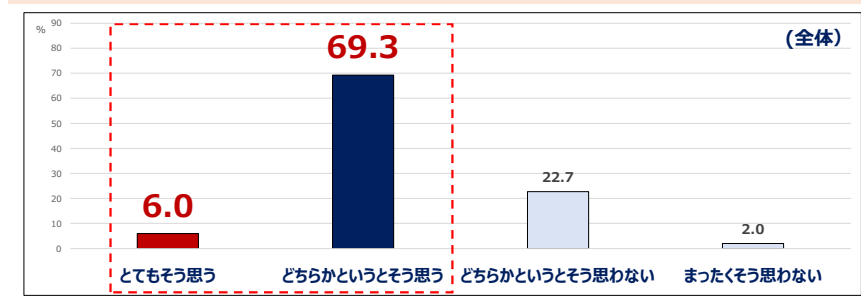
a. 「道徳科に関心がある」教員は80%超

→ 道徳科の授業に関心の高い教員が多い

23

「①県内教員への質問紙調査」結果

2. 道徳科の授業の基本的な展開について理解できていると思いますか。



「理解できている」と自己評価する教員75%超

⇒「ほぼ全ての『学校』が課題を感じている」(R3文科省調査)

24

「①県内教員への質問紙調査」結果

2. 道徳科の授業の基本的な展開について理解できていると思いますか。

「理解できている」と自己評価する教員の自由回答より（一部抜粋）

道徳科授業に感じる事※1	実際の回答
○評価の難しさ	子供たちの心の動きや変化を評価することが難しい
○授業の難しさ	生徒が本音を話すことが難しく、模範的な回答をしがち
○教材研究の迷走	教材研究を深めれば深まるほど着地点が迷走してしまうことがある。どうしても国語のようになってしまうことがある。

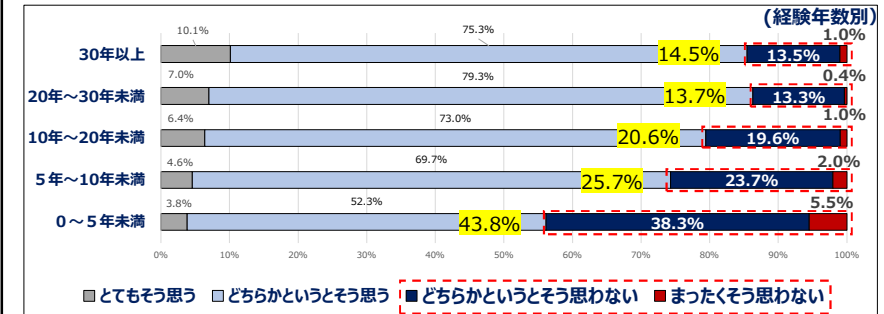
※1 記述内容を生成AIにより分析

b. 「理解できている」が、**道徳科の授業に迷いや難しさも感じている**
→ **道徳科授業づくりに関する情報が求められている**

25

「①県内教員への質問紙調査」結果

2. 道徳科の授業の基本的な展開について理解できていると思いますか。

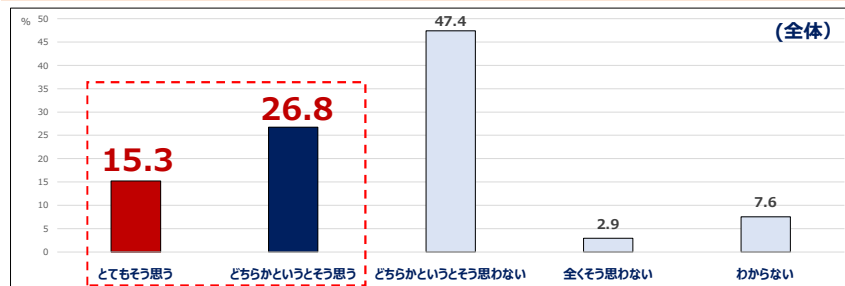


c. 経験年数少ない程「理解できていない」が多い→**「若年層」をターゲット**

26

「①県内教員への質問紙調査」結果

3. 道徳科と他教科等の授業づくりに違いがあると思いますか。



「そう思う（≡違いを感じている）」教員が40%超
→道徳科と他教科等に**どんな違い**があると感じているのか

27

「①県内教員への質問紙調査」結果

3. 道徳科と他教科等の授業づくりに違いがあると思いますか。

道徳科と他教科等の違い※2	実際の回答
答えが明確でない	答えがないため、授業の組み方がよく分からない。
評価の難しさ	授業内容がどの程度身に付いたのか見取ることが難しい。
授業の難しさ	他教科以上に予想される答えを考え、それを基に授業をつくっていく必要があるから。
単元がない（授業1時間扱い）	道徳科は1時間展開の学習だから。
学習活動の独自性	知識ではなく、心情を育てる学習だから。

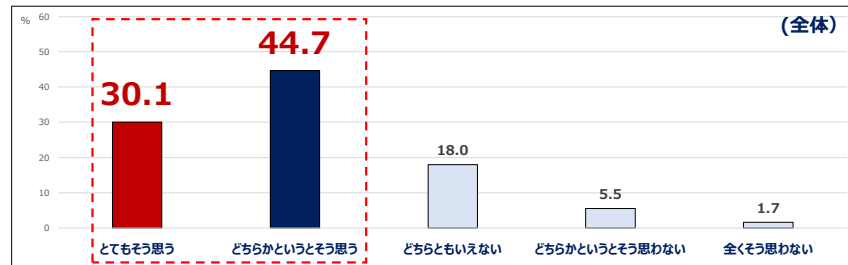
※2 記述内容を生成AIにより分析

d. **道徳科独自の特徴から困り感を生じている**様子が見えてくる。

28

「①県内教員への質問紙調査」結果

4. 道徳科は他教科等の指導と比べて、難しいと思いますか。

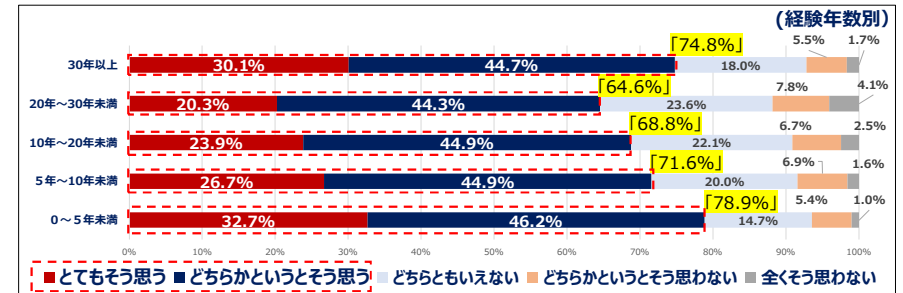


e. 他教科等以上に道徳科の授業に難しさを感じる教員が、70%超
→ **道徳科の特質等についての情報提供が求められている**

29

「①県内教員への質問紙調査」結果

4. 道徳科は他教科等の指導と比べて、難しいと思いますか。

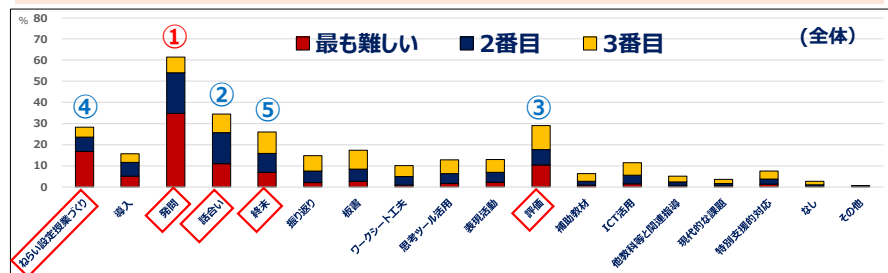


f. 経験年数少ない程、道徳科の授業に難しさを感じている傾向
→ **「若年層」を主なターゲット** ※若年層とベテラン層で「課題意識」「悩みの質」が異なるか

30

「①県内教員への質問紙調査」結果

5. 道徳科の授業をする上で、難しいと思う点は何ですか。 難しいと思う順に3つ選んでください。



g. 「発問」「話し合い」「評価」「授業のねらいを設定した授業づくり」等に
難しさを感じている → **調査研究（成果物）の内容**

(参考)「特別の教科 道徳」についての、小・中学校教員一斉調査「松田真子・十田雄一 特別の教科 道徳」第31号、2019

31

「②県内調査協力者へのインタビュー調査」より

道徳科授業のどんなところに難しさや困り感を感じますか。

- A 教諭 導入で興味・関心をもたせるところが難しい。
- B 教諭 色々な意見が出てきて「着地点」が分からなくなってしまうことがある。
- C 教諭 「求めたい価値観」とずれてしまう時に、そのままでもいいのか、働きかけた方がいいのか悩むことがある。
- D 教諭 「オープンエンド」で終わらせるといつつも、**子供たちの意見を誘導してしまふ。**

日々の道徳科の授業について、「授業づくり」から「授業展開」など、**全般に渡って、難しさや困り感を感じている**様子がうかがえる。

32

「②県内調査協力者へのインタビュー調査」より

「道徳科の『発問』に難しさを感じる教員が多い」ことについて



E 教諭 「望ましい答え」を知っているので、それに沿った声が多くなってしまふ。

F 教諭 予想外の回答に対し、どう切り返すかが難しい。

G 教諭 発問が難しい。発問後、話し合いが（ねらいから）ずれていってしまうことがあり、難しいと感じる。

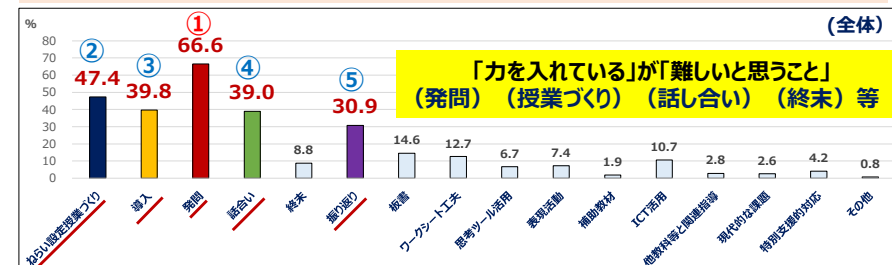
H 教諭 発問をした後に、子供から出た回答に対する掘り下げ方、問い返し方、意図とは違うところに（話し合いが）行った時にどうするか。

道徳的諸価値について「自分ごととして」「多面的・多角的に」考えられるようにする発問（主・補助発問）等の情報を求めている様子がうかがえる。

33

「①県内教員への質問紙調査」結果

6. 道徳科の授業づくりをする上で、力を入れていることは何ですか。当てはまるものを3つ選んでください。

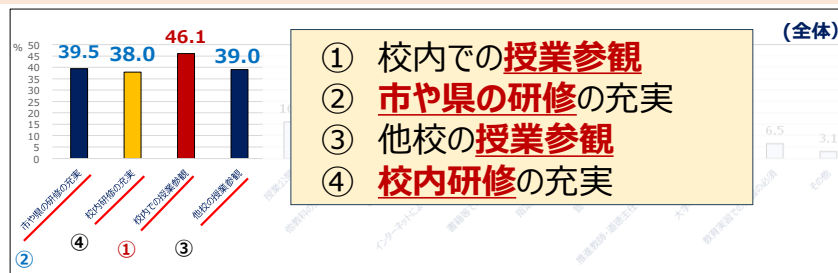


h. 「発問」「授業のねらいを設定した授業づくり」「導入」「話し合い」「振り返り」に力を入れている
→ 研究（成果物）の方向性

34

「①県内教員への質問紙調査」結果

7. 道徳科の指導力を高めるために、重要だと思うことはどんなことですか。（複数回答可）



道徳科の指導力を高めるために「授業参観」「市・県の研修」「校内研修」を求める声が多い → どのような研修が求められているのか

35

「②県内調査協力者へのインタビュー調査」より

よりよい道徳科の授業づくりに向けて、どんな研修があるといいと思いますか。



I 教諭 道徳の基礎基本を皮切りに、授業で意識すること、指導案の作成等、一つ一つ教えてもらえるような研修があるといい。

J 教諭 指導案を作り授業を行うといった、実践的な研修があるといいと思う。

K 教諭 道徳科の授業を参観する機会があるとよい。

L 教諭 講師の模擬授業後に、授業づくりをどのように考えればよいかのアドバイスがあるとありがたい。

i. 基礎基本についての研修だけではなく、授業の参観や「参加・体験型」の研修を求める声がある

36

「②県内調査協力者へのインタビュー調査」より

よりよい道徳科の授業づくりに向けて、どんな資料がある
といいと思いますか。



M 教諭 資料等が余りあり過ぎても困ってしまうと思う。

N 教諭 道徳科の授業実践の「外せないポイント」が載っているものがいい。

O 教諭 授業にそのままいかせるような指導案的な内容があるといい。評価の方法について具体的なアドバイスがあるといい。

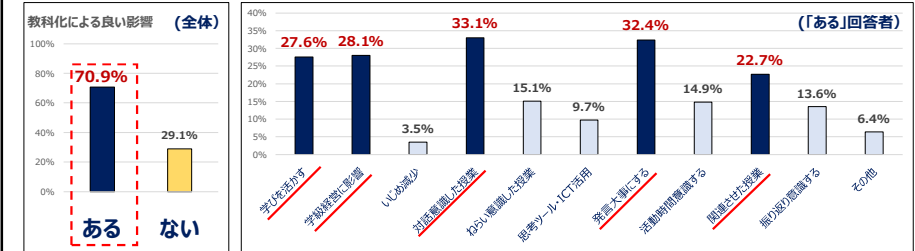
P 教諭 授業にいかせる資料（YouTube・NHK for School動画など）の紹介があるといい。

- 理論・実践・授業づくりを活用できる情報など、幅広いニーズがある。
- 県内の他資料を鑑みて、独自性のある内容にすることが求められる。

37

「①県内教員への質問紙調査」結果

8. 道徳が教科化したことでよい影響があったと思うことを教えてください。（複数回答可）

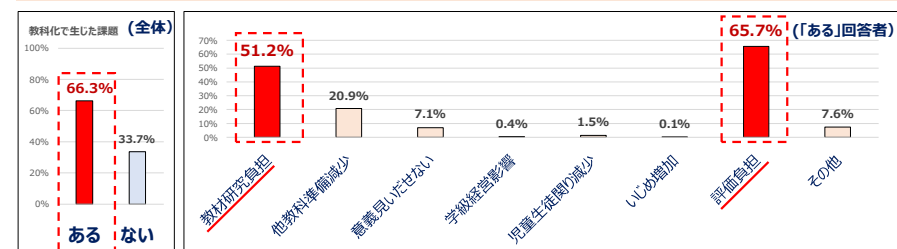


教科化の影響について70%超が肯定的
→道徳科の指導が他教科等の指導により影響を与えている可能性

38

「①県内教員への質問紙調査」結果

9. 道徳が教科化したことによって、生じた課題はありますか。（複数回答可）



j. 60%以上の教員が、道徳教科化による課題を感じている。
→特に「評価」「教材研究の負担」を課題として感じている。
→「評価」「教材研究」についての情報提供

39

「②県内調査協力者へのインタビュー調査」より

「道徳科の『評価』に難しさを感じる教員が多い」ことについて



Q 教諭 児童生徒全員を上手に見取る（評価する）ことができない。

R 教諭 児童生徒の学びの姿を見取るのが難しい。また、文章にするのが難しい。

S 教諭 所見は一人一人に合わせたものなので、負担が大きい。

T 教諭 道徳科の評価は、数値ではなく、言葉で評価するため、教師による違い、力量が現れると思う。

「道徳科の『評価』」について、難しさを感じると共に、負担感を感じている様子が分かる。

40

報告 内容	1 主題設定の理由
	2 研究の目的及び研究計画
	3 研究概要
	4 今年度の取組
	5 成果と次年度に向けて

千葉県総合教育センター

41

5 成果と次年度に向けて		
(1) 今年度の調査研究の成果		
「道徳科の授業づくり」に係る調査より		根 拠
取 組	道徳科の授業づくりに関する情報が <u>求められている</u>	a・b・d・e
対 象	小・中・義務教育学校の <u>若年層</u> 教員	c・f
内 容	<u>教材研究・授業の基本的なポイントについて</u> 「発問」・「導入」・「話し合い」・「終末」・「振り返り」 ・「評価」・「授業のねらいを設定した授業づくり」	g・h・j
活 用	授業イメージも見える研修（ <u>参加・体験型研修</u> ）	i

千葉県総合教育センター

42

5 成果と次年度に向けて			
(2)次年度「成果物」等作成の方向性			
① R7「成果物」構成（仮）			
章	項 目	章	項 目
1章 はじめに	1.「これからの道徳科授業」について	2章 理論編	5.終末
	2.県の実態について		6.振り返り
	3.道徳科授業の学習活動		7.他の教科等と関連をもたせた指導
2章 理論編	1.「道徳科授業前」に大切なこと		8.評価
	2.導入	3章 実践編	1.授業実践事例
	3.発問(主発問・問い返し)		2.授業づくり事例
	4.話し合い		3.道徳教育の推進

道徳

43

5 成果と次年度に向けて	
(2)次年度「成果物」等作成の方向性	
②これからの時代を生きる力を育てる道徳科授業づくりの方向性	
目指す子供の姿 子供の学びの姿 学びを支える教師の姿	
(参考)「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）令和3年1月26日 中央教育審議会	

44

5 成果と次年度に向けて

(2)次年度「成果物」等作成の方向性

②これからの時代を生きる力を育てる道徳科授業づくりの方向性

目指す子供の姿

「持続可能な社会の創り手」「自立した学習者」

子供の学びの姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業

学びを支える教師の姿

子供一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たし、
子供の主体的な学びを支援する伴走者

(参考)「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) 令和3年1月26日 中央教育審議会

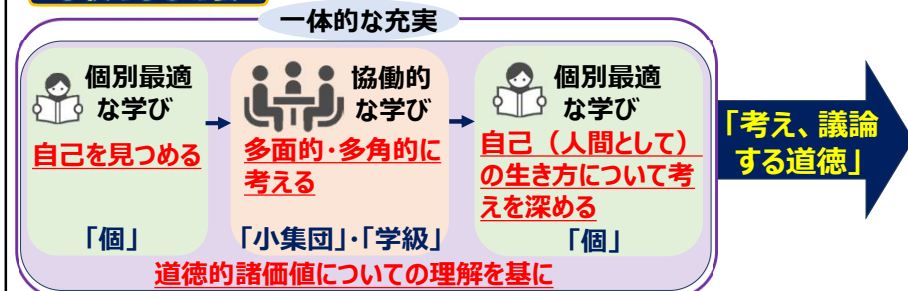
45

5 成果と次年度に向けて

(2)次年度「成果物」等作成の方向性

②これからの時代を生きる力を育てる道徳科授業づくりの方向性

子供の学びの姿



(参考)令和5年度 佐賀県教育センター 個別実践研究(個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実)

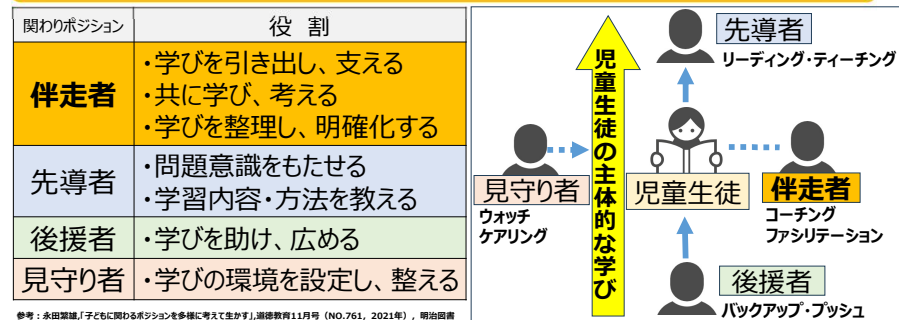
46

5 成果と次年度に向けて

(2)次年度「成果物」等作成の方向性

②これからの時代を生きる力を育てる道徳科授業づくりの方向性

学びを支える教師の姿～道徳科の授業における4つの「関わりポジション」～



参考：永田繁雄「子どもに関わるポジションを多様化させて生かす」道徳教育11月号（NO.761、2021年）、明治図書

47

令和6年度

総合教育センター・子どもと親のサポートセンター 研究発表会

主題

生きる力を育てる道徳科授業づくりに関する研究

詳しくは報告書をご参照ください
※3月下旬に総合教育センター
HPにウェブアップ予定



アクセス用
二次元コード

千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部 研究開発班

48